

都市計画道路戸畑枝光線他街路事業・有料道路事業に関する 公共事業再評価の結果について（報告）

1 概要

- (1) 戸畑枝光線を有料化し、整備手法を街路事業と有料道路事業の合併施行方式に変更することについて、公共事業再評価の手続きを完了
- (2) 公共事業評価に関する検討会議（外部評価）及び市民意見の聴取（パブリックコメント）を踏まえた市の対応方針を報告するもの

2 公共事業評価に関する検討会議（外部評価）の結果・・・資料1

- (1) 開催日：令和4年6月21日
- (2) 評価結果：戸畑枝光線を有料化して事業を継続することに異議なし

3 市民意見の聴取（パブリックコメント）の結果・・・資料2

- (1) 意見募集期間：令和4年7月11日～令和4年8月10日
- (2) 意見提出状況：提出者数6名、提出意見数11件
- (3) 意見の内訳
 - ・変更計画案の趣旨や内容に賛意や共感を示す意見 2件
 - ・今後の進め方等に対する考え方を述べた意見 6件
 - ・その他の意見 3件
- (4) 計画への反映状況
 - ・変更計画案に掲載済 4件
 - ・変更計画案への追加・修正あり 0件
 - ・変更計画案への追加・修正なし（今後の参考等とする） 7件
 - ・その他 0件

4 市の対応方針・・・資料3

戸畑枝光線を有料化して事業継続

5 公表方法

委員会報告後、閲覧、配布、ホームページで公表

6 今後のスケジュール

- (1) 都市計画変更（北九州市）
- (2) 北九州高速道路整備計画変更（福岡北九州高速道路公社）
- (3) 合併施行方式の都市計画事業認可取得（北九州市・福岡北九州高速道路公社）
- (4) 有料道路事業着手（福岡北九州高速道路公社）

公共事業評価に関する検討会議における留意点とその対応
 (対象事業：北九州広域都市計画道路戸畑枝光線他街路事業・有料道路事業)

市の対応方針（案）
事業継続

	公共事業評価に関する 検討会議での意見	市の対応方針（案）
(1) 市民への説明について	市民へ事業の趣旨及びメリット（ネットワーク構築、災害リスクの減少、市の支出の縮減、走行時間短縮等）をしっかりと説明していただきたい。	有料化して受益者負担となる代わりに得られるメリット等を十分に説明し、本事業の周知理解を図ってまいりたい。
(2) 公社の収支状況について	福岡北九州高速道路公社の安定した経営で事業を継続していけるように、今後も公社の収支状況に注視していただきたい。	北九州高速の交通分析や経営状況の確認等を毎年行い、福岡北九州高速道路公社の安定的な経営を念頭に事業を進めてまいりたい。
(3) 市民への北九州高速の利用啓発について	多くの人に利用してもらえよう試験的に料金の工夫をする等、福岡北九州高速道路公社の安定的な経営の範囲内で、市民に利便性を知っていただけるような取り組みを検討していただきたい。	北九州高速の利用促進や福岡北九州高速道路公社の安定的な経営の観点から、企画割引や料金体系等について、どういった工夫ができるか検討してまいりたい。

提出された市民意見の概要及びこれに対する本市の考え方
(対象事業:北九州広域都市計画道路戸畑枝光線他街路事業・有料道路事業)

■意見募集期間 令和4年7月11日(月)から令和4年8月10日(水)まで

■意見提出状況 (1) 提出者数: 6人(電子メール3人、持参3人)
 (2) 提出意見数: 11件

<p>【意見の内容】</p> <p>1 変更計画案の趣旨や内容に賛意や共感を示す意見</p> <p>2 今後の進め方等に対する考え方を述べた意見</p> <p>3 その他の意見</p>

<p>【意見の反映結果】</p> <p>① 掲載済み(一部掲載を含む)</p> <p>② 追加・修正あり</p> <p>③ 追加・修正なし(今後の参考等とする)</p> <p>④ その他</p>
--

1 戸畑枝光線の有料化に関すること

意見の概要	本市の考え方	内容	反映結果
<p>高速道路として計画された道路を税金で建設管理するとなると、常日頃通行しない市民も問答無用で負担することとなるため不公平に感じる。高速道路であるならば、急ぎたい人が料金を払って負担すべきだと思う。</p>	<p>有料化にご賛同いただき有難うございます。戸畑枝光線については、福岡北九州高速道路公社の安定的な経営を念頭に、有料道路として事業の推進に努めてまいります。</p>	1	①
<p>社会経済情勢の変化により事業計画の見直しを行うことについては理解できる。</p>		1	①
<p>同等規模の事業費である黒崎バイパスは無料であるのに対して、戸畑枝光線が有料であることで、開通後の利用が見込みどおりとなるか疑問を感じる。</p>	<p>東田地区への大型商業施設進出等により、北九州高速の利用増加が見込まれると考えています。なお、有料化後は、福岡北九州高速道路公社と連携しながら、利用増加に向けてサービス向上に努めてまいります。</p>	3	①
<p>無料でも有料でもどちらでもいいが、一旦どちらかに決めたのであれば貫くべきで、ころころ変えるようでは市政の信用に関わるのではないかと。</p>	<p>戸畑枝光線は、当初は有料道路として計画していましたが、北九州高速4号線の大規模補修等に多額の事業費が必要となり、福岡北九州高速道路公社の整備計画から削除され、無料の道路として市が整備することとなりました。その後、東田地区への大型商業施設進出等により、北九州高速の利用増加が見込まれることとなったため、再度の有料化について、学識経験者等による有識者会議で議論した結果、有料化に賛同をいただきました。その後の公共事業再評価においても、事業の妥当性を議論し、戸畑枝光線を有料化して事業継続することに承認を得られたところです。戸畑枝光線については、このような経緯を経て有料化の手続きを進めています。</p>	2	①

2 戸畑枝光線の完成に関すること

意見の概要	本市の考え方		
八幡西方面から戸畑方面に行く際の利便性が向上するため、戸畑までの区間についても早期の整備をお願いしたい。	早期の事業効果発現に向け、鋭意、事業の推進に努めてまいります。	2	③
ジアウトレット北九州の開業等で地域の状況が変わっており、北九州に人を呼び込む良い機会だと思うので、早急に整備を進めていただきたい。		2	③
早期整備が望ましい。		2	③
工事が終わる際は、市民に周知していただきたい。	事業完了の際には、広く周知を図ってまいります。見学会やウォーキング等のご提案に関しては、今後の事業PR等の参考にさせていただきます。	2	③
1期区間の開通時期が近づいてきたので、開通日の早めの周知と、見学会やウォーキング等開通前にしかできないような体験を市民向けに検討していただきたい。		2	③

3 北九州高速に関すること

意見の概要	本市の考え方		
北九州高速を使う際に、出入口や分岐地点の案内表示等がわかりにくい箇所があるため、新しく整備する区間については、利用者が混乱しないような案内標識を設置していただきたい。	案内標識の適切な設置により北九州高速の快適な利用に努めてまいります。	3	③
北九州高速を含めた環状ネットワーク全体として利用が促進されるような料金設定等を検討していただきたい。	北九州高速の利用促進や福岡北九州高速道路公社の安定的な経営の観点から、企画割引や料金体系等について、どういった工夫ができるか検討してまいります。	3	③

公共事業評価に関する検討会議及び市民意見を踏まえた市の対応方針
 (対象事業：北九州広域都市計画道路戸畑枝光線他街路事業・有料道路事業)

【対応方針】

事業継続

【対応方針決定の理由】

本市では、産業構造の高度化や物流機能の充実・強化を図るため、北九州空港やひびきコンテナターミナルの整備など、様々な物流拠点の整備に取り組んでいる。安定的な物流・人流を確保・活性化するためには、これらの物流拠点や中心市街地を結び、本州や九州各地域との連携を促進する主要幹線道路の整備を進め、広域道路ネットワークの形成を推進する必要がある。

また、大規模災害発生直後において、人員や物資等の緊急輸送活動を確実かつ円滑に実施するためには、緊急輸送道路を早急に整備する必要がある。

北九州広域都市計画道路戸畑枝光線は、北九州高速や若戸トンネル等と一体となることで、我が国のものづくりを牽引する企業が集積する響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区等を結ぶ、環状放射型の自動車専用道路ネットワークを形成するもので、戸畑区大字戸畑を起点とし、八幡東区東田五丁目を終点とする延長約4km、4車線、代表幅員18mの自動車専用道路である。

本路線の整備を街路事業にて鋭意進める一方で、周辺幹線道路の進展や周辺開発の増進といった環境変化により、北九州高速の利用増加が見込まれることから、本路線を有料化し、有料道路事業との合併施行方式による整備手法が可能となったところである。有料道路事業については福岡北九州高速道路公社が事業主体となり、供用後の通行料金を原資に事業費を90億円投資することにより、街路事業費が45億円縮減される。また、本路線の維持管理については、同公社が供用後の通行料金を原資に北九州高速と一体的に行うこととなる。

本路線を有料化することで、利用者に通行料金の負担が生じるものの、安全性・走行性・受益性が高まり、北九州高速のポテンシャル向上につながるるとともに、公共事業に係る費用縮減により、将来世代への負担が軽減し、持続可能な社会につながるといったメリットが挙げられる。

費用対効果は1.11と、本路線を有料化した場合においても充分整備効果が見込まれるものであることから、公共事業調整会議(内部評価)では、本路線を有料化して事業を継続することとした。

続いて実施した公共事業評価に関する検討会議(外部有識者会議)では、変更計画のとおり本路線を有料化して事業を継続することについて、「異論なし」との意見を受け、あわせて今後の事業推進にあたっての留意点が示された。

その後市民意見を募集した結果、戸畑枝光線の有料化に関する意見、戸畑枝光線の完成に関する意見、北九州高速に関する意見が寄せられた。なお、計画の修正を要する意見はなかった。

以上のことから、検討会議で示された留意点や市民意見を踏まえつつ、変更計画のとおり本路線を有料化して事業を継続することとする。

計画平面図

